

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2022年6月10日

No 414

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

解決迫る、争議支援総行動

全労連・東京地評が19カ所取り組む

5月25日(木)全労連・東京地評争議支援総行動が、4コースの19カ所で、メイン行動は「日本IBM本社前」と「東電パワーグリッド」で、電機はCコースのNECと三菱電機でした。

事前にNEC本社内で要請する

NEC本社には、14時から代表者である電機・情報ユニオン(ユニオン)米田委員長と森書記長の2人で伊草さんの解決について本社内の会議室でNEC本社渉外グループ長に要請しました。

NEC本社に解決を迫る

NEC本社前行動では14時45分から48人が参集し、司会を支援する会の森事務局長が行ない、オープニング演奏を松平さん、主催者あいさつは黒澤全労連事務局長がNECで解雇された伊草さんにふれて「労働者が大切にされる」事を求めました。連帯あいさつで米田委員長は、横浜地裁の判決で「休職期間中でも復職可能となった」場合には、社員としての賃金を支払えであり、和解交渉では空白の6年間について、同期同学歴の処遇を求めていると強調しました。伊草さんは同期同学歴の処遇で職場復帰すると決意表明。シュプレヒコーラーを米田和恵さんが行いました。



三菱電機本社に解決を迫る



三菱電機本社前行動では15時50分から48人が参集し、司会を愛知支部成木委員長が行ない、主催者あいさつは、齊藤全労連常任幹事が行い「リーマンショック時の派遣切り争議」ハラスメントなどの解決をもとめた。連帯あいさつで米田委員長は、派遣切りとの闘いで業務が指示書と違って「防毒マスク」をつける程のひどい環境が明らかになり本人への謝罪を求めている。職場内でのハラスメントが公になり、さらに40年間も不正検査があった事で4月28日の決算発表で漆間社長は謝罪から始まっており、引き続き国際労働基準で追求すると訴えました。

三菱電機派遣切り勝たせる会本田事務局長が解決する迄頑張り決意を表明し、シュプレヒコーラーを熊谷役員が行った。

今月号の紙面

- ①全労連・東京地評争議支援総行動
- ②電機大手の3月期決算全体の特徴
- ③沖電気子会社で200人リストラ
- ④電機の「ジョブ型」研究懇談会
- ⑤東京電機懇「第33回総会」開催
- ⑥ラプラス「清瀬市」佐野さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧「株主総会」「リストラ反撃集会」からむすの原稿を。集積回路